

渡邊千秋 ワタナベ アキヒ 官僚、歌人。天保十四年五月二十日信濃國諏訪郡長池村生れ、大正十年八月二十七日歿（一八四三—一九二一）。通稱鍋八郎。號楓關、また楓關千秋、楓關翁、源千秋、わたなへの千秋とも署す。藩醫長善館の學び、高島藩に仕へた。維新後伊那郡に出仕、累進して鹿兒島縣令、北海道廳長官、京都府知事、宮内大臣に至り、伯爵。和歌を能くし、兼て俳諧に遊んだ。

『楓關一茶俳句二色評』(白田卯一郎編、内題「一茶俳句兄弟」一色評) 明治四十四年八月八日好文堂)は弟渡邊國武との共著、歿後「千秋歌集」全二冊(大正十一年八月五日渡邊昭編刊)出版。

